

# 週報

今月のテーマ 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間

第1587回例会

2019年9月26日 Vol.34/No.12

## ■本日の例会 / 第1588回 令和元年10月3日(木)

- 会長・幹事報告 ●各委員会報告・各委員長
- 米山奨学生奨学金授与式
- 会員卓話・久保山洋一 会員 藤原昭公 会員
- 誕生&結婚お祝い報告・フェローシップ委員会

## 【出席率状況報告】

・会 員 数	55 名
・出 席 者	33 名
・欠 席 者	22 名
・出 席 率	60.00%
・9/12の修正出席率	62.27%

## ■会長挨拶

篠原英介 会長



### リーダーとオフサイド

先週開催されましたロータリー・リーダーシップ研修会(通称RLI)についてご紹介します。

この研修会に参加すると、クラブ以外でも活用できるヒントやアイデアも数多く学ぶことができます。

このうち、7月開催のパートIでは、リーダーシップを学びました。

そこでは、リーダーシップは5つに分類されると説かれています。

次のなかで、みなさんやみなさんの周りのリーダーとされる方はどれに該当しますか？

- ①参加型：ほかの人々に参加してもらおうと努める
- ②臨機応変型：状況に応じてリーダーシップのスタイルを変える
- ③取引型：階層構造と賞罰制度に基づいて指導する(ポストや報酬と紐づける)
- ④転換型：活力と熱意を分かち合いながら、相手の心をつかみ指導する
- ⑤サーバント型：仕えてもらうより自らが仕える

私自身は、①+②もしくは①+⑤ではないかと考えます。複数のリーダーが必要になる際は、効果的な組み合わせや組織運営へのヒントになるのではないのでしょうか？

次回は11月、一緒に参加しませんか？

別の話題として日本で開催中のラグビーについて触れます。

ルールが難しいとされるラグビーですが、身体と身体を防具なしで激しくぶつけ合うスポーツだからこそのことらしいです。

そのうちのひとつ、サッカーにもある「オフサイド」をご紹介します。

サッカーの場合はボールの前へも自由に動き回るこ

とができ、相手守備網を突破する醍醐味があります。

一方で、ラグビーは必ずボールより後ろに身を置き、複数の仲間でボールを保持しながら前へ進まなければなりません。キックで大きく前進することもできますが、スタート位置はボールより後ろなので、相手にボールを渡すリスクもその分高くなります。

どちらの競技も戦略や個人技など共通した見どころはありますが、「組織的な動き」をより重んじ、時にはリスクと背中合わせの局面を生むこのラグビーは、会社経営や組織運営に置き換えると興味深いものです。

リーダーは常にオフサイドに留意すべきです。

## ■幹事報告

江口健一 幹事



1, 宮崎北ロータリークラブより  
創立50周年記念式典 祝賀会 参加の御礼が届いています。

2, 第71回 宮崎総合美術展  
10月11日(金) 午後3時より

展示は、10月12日から10月27日まで 場所は、宮崎県立美術館 2Fアートフォーラム  
時間のある方は、是非行かれて下さい。

## ■職業奉仕委員会

生駒俊明 委員長



10/17(木)職場訪問を行います。

場所 アリスこどもの家幼稚園

12:00～食事

12:30～例会

平沼会員の会社 (株)ヒラヤマ様の

会社の駐車場集合・出発

## ■会員卓話

田島直也 会員



### 人生100年、どう生きるか

- ・平均寿命と将来推計
- ・何才から高齢か
- ・高齢化社会の課題
- ・健康対策

- ・体重の管理と運動
- ・有酸素運動とレジスタンス運動
- ・フレイル
- ・長寿の心がけ
- ・元宮崎中央RC会員：日高海雄さんと私自身の生き方

等につきPowerPointで説明し、最後に道元禅師からメッセージを述べました。高齢化社会を迎えるにあたりまず健康で、生活環境、生活資金の基礎の上趣味、やりがいがある仕事をもつ事が重要と考えます。

## ■会員卓話

高橋誠司 会員



シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートはホテルオーシャン45で1994年10月31日に開業し今年で25周年を迎えます。そのホテルに多くの時間をベル・フロントで過

した私から一応ホテルマンみたいなことを沢山やってきたので、本日話す卓話は、プロトコルを取り上げてみました。

「国家間の儀礼上のルールであり、外交を推進する為の潤滑油」と外務省ホームページにはかかれています。国際的・公式な場で主催者側が示すルールを指す事もあります。

簡単に言うと私的な場面での礼儀を「マナー」や「エチケット」と呼ぶのに対して、主に国の間の公式儀礼を「プロトコル」と呼びます。

プロトコル精神として、1つ目は「国の大小に関係なく全て平等に扱うこと」これは、国の大きさを序列を決定してはいけないことともう一つは「誰もが納得するルールに従う」この意味は、先方当方共に不快な思いをしないような配慮を行うことです。一つの例としては 駐日大使は着任順が原則!になっています。

基本ルールは、右上位となり先任者優先、先着順があります。

このプロトコル 基本ルールをホテルの中で扱う

ことは、国旗掲揚時のプロトコルがあり、宮崎に2000年外相会合があった時、私は、サミット対策室に所属しており、外務省の方々や先輩方に叱咤激励を受け、徹底的に叩き込まれたので、今回は国旗掲揚のプロトコルについて話を続けていきたいと思えます。

書いてある通り、国旗は国の象徴であり、国旗に敬意を表すことは国際会社の基本的マナーです。

次のような行為を行わないように気をつけて掲揚を行います。原則ここに書かれている行為での掲揚は禁じられています。破損、汚れた国旗掲揚、雨天・日没後の掲揚国旗と団体旗の併揚。三脚等で垂らす時に地面につけてはいけない。旗の大きさはすべて同じ。

1本のポールに2カ国掲げない。2000年の外相会合時は、ホテルポールは足りていましたが、その前の4月に開催された太平洋・島サミットでは多くの代表がお見えになりポールが足りてなく、急遽発注し簡易ポールで行ったことを覚えております。

また、縦位置の掲揚方法

では、ここからは、掲揚方法について語りしたいと思います。

2カ国の場合、右側に外国旗(向かって左)左側に自国(向かって右)掲揚を行います。

しかしながら、自国を優先して上位に掲揚国もあります。因みにアメリカ合衆国、カナダ、フィリピンなどがそうで自国優先で掲揚を行います。

3カ国以上の場合

2つ方式あって、先ず一つ目は、国旗アルファベット順に従って、向かって左から右に掲揚を行う方法

奇数の場合ホスト国真ん中でアルファベット順に中央より向かって左から左右交互に掲揚することもあります。

続きまして卓上旗です。

2カ国の場合

手前が外国側で奥が日本の場合相手から見て左側に相手国の旗が来るように掲揚する。

3カ国以上場合

国旗掲揚方法と同じです。

## ■出席委員会報告

佐藤龍三郎 委員長

### ◆9/12メイクアップ者名 (敬称略)

志戸本和孝、新地康宏、秦 喜八郎

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0806 広島1丁目3番地3 秀豊ビル 4階 TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-9170  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)  
会長/篠原英介 副会長/小村賢一郎 幹事/江口健一